

事務事業名	商店街駐車場利用者助成事業	整理番号	42101-000
所管	商工観光課		

●事務事業の位置付け

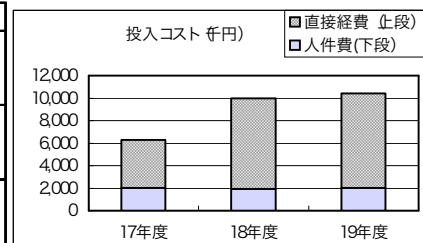
期間	平成14年度～平成年度	根拠法令・要綱等	御殿場市商店街駐車場利用に関する助成金交付要綱
基本計画における位置付け	基本政策 4-2 競争力のある商工業の育成 政策 4-2-1 商業・サービス業の振興	関連政策	4-3-1 観光・集客体制の強化 4-3-3 観光産業と他の産業などとの連携

●事務事業の内容

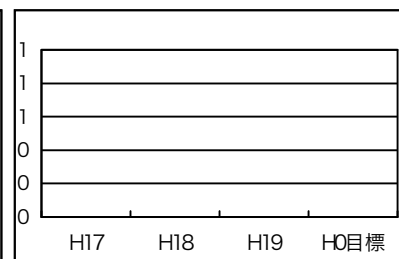
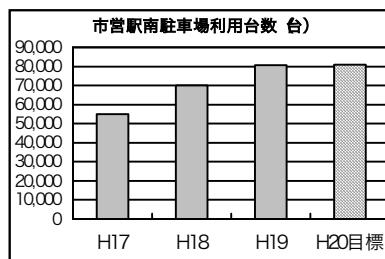
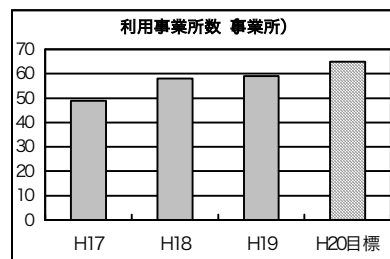
目的 (何のために)	商店街等が時間貸駐車場を利用してくる顧客のサービスのため、駐車場料金を負担することにより、客を駅前に誘導し、中心市街地の商業振興及び活性化を図る。
対象 (誰・何を)	中心市街地内の商店街及び商店等
手段 (どのようなやり方で)	商店街や商店等が来客者のため、駐車場前売り回数券を購入した場合、その1/2を補助する。
成果 (どのような状態にしたいか)	御殿場の顔ともいえる御殿場駅周辺に人を誘導することにより、賑わいの創出を行ない、中心市街地の活性化を図る。
事務事業の背景・住民の意向	駅周辺の商店等は、店舗スペースが限られ、駐車場を併設するのに限度があるため、買い物等がしにくい。
見直し改善の経過	実施手法について、商工会、商店街と検討中。

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績
平成17年度	契約駐車場4ヶ所について、駐車場回数券購入の助成
平成18年度	契約駐車場4ヶ所について、駐車場回数券購入の助成
平成19年度	契約駐車場4ヶ所について、駐車場回数券購入の助成



●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント		
観点別評価	必要性	★★★★★	ある程度の実績を残しており、状況を見ながら継続していく。	
	有効性	★★★★		
	効率性	★★★		
一次評価	B	★★★★	今後の方向性 継続	
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント		
二次評価	C	☆☆	今後、補助金を含め、事業のあり方について再検討すること。	
				今後の方向性 縮小

●改革プラン

平成20年度からの対応	1事業所の補助金の限度額を100万円から50万円に減額し、他の事業所とのバランスを考え事業の効果を図る。
平成21年度以降の対応	20年度の効果により実施方法を検討する。
改革により予想される成果	コストの削減がされ、事業者に対する事業費の公平性が保たれると同時に、商店街・商店の意識改革が期待できる。